

[EWE 先輩からのメッセージ]

NTT R&D で 自身の力を発揮しよう

NTT R&D (NTT 研究所) の須藤弘貴と申します。
私は 2019 年に基幹理工学研究科 情報理工学専攻
(清水研究室) を修了し入社しました。現在は、
プライバシー保護技術、とりわけ秘密計算を中心と
した研究開発に取り組んでいます。

NTT R&D の魅力と入社理由

社会課題を解決する技術を研究開発するのは
非常に時間がかかります。弊社には、そうした技
術を中長期的(数年~数十年)に取り組むことがで
きる環境と多様な 14 の研究所があります。さら
に、情報通信事業に限らず、エネルギー、ヘルス
ケアなど多くの事業領域を持っており、幅広い社
会問題を対象とした研究開発ができます。私は学
術活動を実際に事業貢献へと繋げることができる
環境に魅力を感じ、入社しました。

学生の皆さんの中で、情報・物理・化学分野の
基礎研究に興味を持つ人や、研究成果を社会に送
り出す応用研究・実用化開発をやりたいと考えて
いる人、また、これから先の社会人生活でより多
くの分野の研究開発に携わりたいと考えている
人には特に魅力を感じていただけたと思います。

入社後の仕事のやりがい

入社してからは、社内外の人との交流を通して
着実な研究開発の推進を日々実感できており、そ
れがやりがいに繋がっています。社内の研究者と

日本電信電話(株)
社会情報研究所
須藤弘貴

基幹理工学研究科
情報理工学専攻
清水研究室
2019 年 3 月修了



の交流はもちろん、NTT グループの事業会社との
交流も研究開発を大きな推進力になっています。
NTT グループの事業会社では多くの社会ニーズを
把握しており、各社からそれらを踏まえた要望・
助言をもらい技術を提供し、提供した技術につい
てフィードバックを受けて改善する、という循環
を回すことができます。こういった活動を通して、
着実な研究の推進・社会貢献を実感できています。

研究開発を通して自分自身の成長を実感でき
ることもやりがいの一つになっています。社内
には様々な分野の研究者が在籍しており、技術ディ
スカッションなどを行うことで、専門性を広げて
高めることにも繋がります。また、研究開発は不
確定要素が大きく、多くの課題に行き当たります。
試行錯誤を重ねてそれらを乗り越えた後、振り返
ると少なからず成長を実感できます。

最後にメッセージ

AI が普及しつつある中、人間には独創的なアイ
ディアが求められるようになってきていると思いま
す。学生時代は新しい環境に足を踏み入れ、新し
い経験を得るチャンスが多いと思います。色々な
ことにチャレンジして独創的なアイデアに繋
がる経験をたくさん収集してみてください。これ
から研究開発に携わる際にもそうでなくとも役
に立つと思います。